

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

【基本事務事業名】 交流を生み出す地域づくり (601)

【評価年月日】 平成12年11月13日

【担当部課名】 生活部文化課

【配入課名 課長名 電話】 文化課長・吉川新・059-224-2496

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策 :地域づくりの推進 (- 5)

施策 :みえ歴史街道構想の推進 (3)

総合計画の目標項目 :交流を生み出す地域づくり

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策 :人と地域を支える文化の振興、文化的資産の継承と活用、集客交流産業の振興、県境を越えた交流・連携の推進

2 基本事務事業を巡る環境変化 (過去、現状、将来)

- ・価値観の変化 (物質的豊かさの充実から豊かな心の充実へ等) 及び多様化、週休二日制の浸透による余暇時間の増大等により、歴史・文化、歴史街道といった資産への興味、需要が高まっている。
- ・ボランティア活動、NPO活動の活発化等に見られるように、県民の地域づくりへの参画意識が高まっている。
- ・地域間交流への興味、需要が高まってきている。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図 (何をどういう状態にしたいのか)

街道をテーマに県域や生活創造圏域を越えて交流するイベントが開催され、地域間交流が促進されている。

3-(2) 成果指標名・成果指標式 (総合計画の目標項目には*を付す)

交流街道イベント開催度

A + B

A : 街道をテーマに県域を越えて実施するイベント件数 (累計) *

B : 街道をテーマに圏域を越えて実施するイベント件数 (累計) *

変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明 (指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

3-(4) 結果 (施策における2010年度の目標)

おおむね各生活創造圏で推進計画を策定するとともに、先導的地域においては基盤事業を完了し、また、その他の地域でも積極的な事業が展開されている。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度 (H11年度) における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

和歌山県、奈良県と連携して東紀州体験フェスタが実施された。

前年度に残った課題

特になし

4-(2)本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

- ・程全生活創造圏において街道構想の地域別推進計画の策定が着手され、その中で街道イベント等の検討がはじまっている。
- ・上の動きと並行して、北勢地域(桑名・員弁、四日市、鈴鹿・亀山生活創造圏)では、平成13年度に宿場・伝馬制度が制定されてから400年を迎える東海道について記念事業の検討がはじまっている。

本年度残ると思われる課題

特になし

5 基本事務事業の改革方向

北勢地域の市町、住民、企業等との協働で開催される東海道400周年記念事業に対して支援する。

6 成果指標値及びコスト等の推移

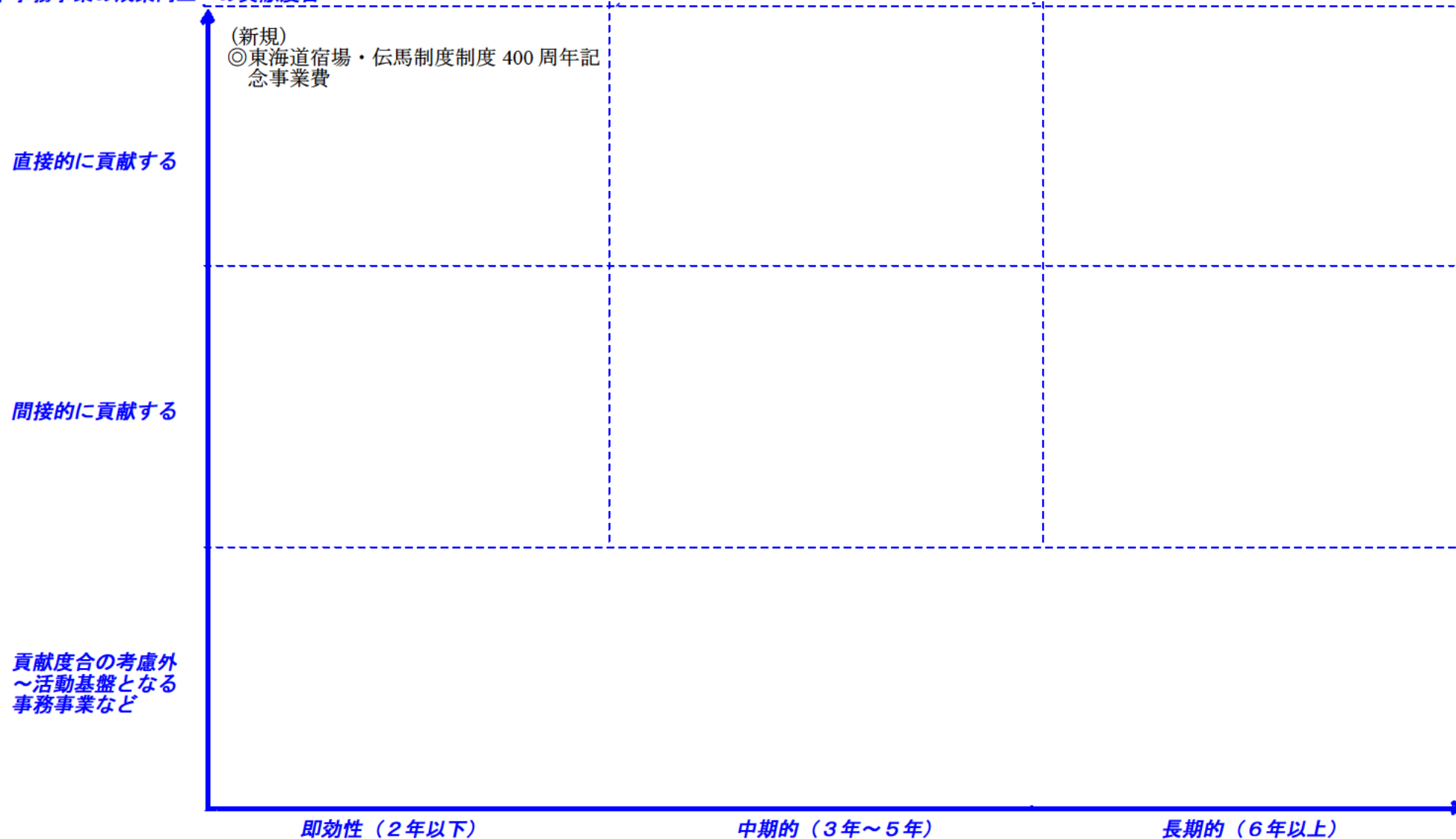
	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円) 所要時間(時間)		必要概算 コスト(千円)
	目標	実績				
前々年度 (H10年度)	2 (1+1)	2 (1+1)	2	545,747 [745,747] - [41,600]		545,747 [919,635]
前年度 (H11年度)	4 (2+2)	4 (2+2)	4	[448,500] [52,440]		[666,126]
本年度 (H12年度)	4 (2+2)	4 (2+2)	4	- -		-
本年度補正後 (H12年度)	4 (2+2)	4 (2+2)	4	- -		-
翌年度 (H13年度)	5 (2+3)	_____	5	80,510 5,280		102,634
計画目標年次 (H13年度)	同 上	_____	同 上	_____		_____

〔 〕内は再掲事業含む

7 翌年度(H1 3年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM : Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合



※ 各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

[illegible]